

だい き やま と し た ぶん か きょうせいかい ぎ だい かいかい ぎ ろく ようやく
第3期大和市多文化共生会議 第12回会議録(要約)

にち じ ねん がつ にち ど
日時: 2014年4月19日(土)14:00~16:00

ば しょ やま と し やくしよぶんちようしや かいかい ぎ しつ
場所: 大和市役所分庁舎2階会議室

しゅつせき い いん あら い まさのり いし ま いとうひろ こ いとうもとみ いなふく おか
出席: 委員(新井政則、石間フロルデリサ、伊藤裕子、伊藤素美、稲福スーザン、岡
崎チャーメイン、小林ホルヘ、宮嶋耕治、山田 静娥)／ファシリテーター 清
みずむつ み やま と し こくさい だんじよきようどうさんかく か ふなこしえいいち おりかき み ほ こ こうえきざい
水睦美／大和市国際・男女 共同参画課(船越英一、折笠美穂子)／公益財
だんほうじんやま と し こくさい か きょうかい た なかひろ こ こにし え り こ いしかわかずとも いじょう めい
団法人大和市国際化協会(田中弘子、小西永里子、石川和友) 以上15名

けっせき い いん きく ち けんいち けいしりやく
欠席: 委員(菊池健一、ファン チィ フォン)(敬称略)

ふくしまけん がいこくじん ぜんかいかい ぎ
1 福島県の外国人アンケートと前回会議のおさらい

ファシリテーターから(公財)福島国際交流協会が行った外国出身者へのアンケートに
ついて説明してもらった。その後出た意見は以下の通り。

- 委員(日本): 福島県だけでなく、東京近郊に住む外国人も避難する人が多かった。
- 委員(日本): 大使館が飛行機をチャーターして帰国を 促す事例もあった。外国人に
とっては、第一に自国の大使館から発信される情報が届いたと言えるのではないかと。
○委員(日本): 同国人の言っていることが正しくて、日本の新聞や政府が言っていること
はうそだと判断して帰国した外国人がいた。
- 委員(日本): テレビから発信された情報と大使館から発信された情報が全く違っ
ていた。大使館の方が避難に関して厳しい基準で情報を発信していた。
- 委員(日本): 先日の新聞で、横浜に住む外国人のうち、3割の人が母国語の情報が
不足していたとの報道があった。横浜市では、震度5以上の地震が発生すると外国
人のための情報センターを立ち上げる方針をとっているようだ。横浜市国際交流協会
では災害時の語学ボランティア制度で 10言語44名が登録したとのこと。
- 大和市: 市の方針としては、市と協会とで防災協定を結ぼうと 考 えている。長く住ん
でいても日本語の習得が難しいという現状で、どのくらいの外国人がやさしい日本語
での情報を必要としているか、把握はむずかしい。
- ファシリ: 日本の行政情報と、自国の大使館からの情報のうち、どちらの情報を聞いた
方がよいのか、という質問があった。これは、行政、政府が個人を守る立場で行動す
るのか、日常的に情報を集める必要がある。通常のときに信用できれば、災害時であ
っても信用できる。その逆もある。災害時だけでなく、普段からチェックすることが大事
だ。

2 災害多言語支援センターの機能について

事務局から資料に基づいて、災害多言語支援センターについて説明を行った。その後
出た意見は以下の通り。

(資料2について)

○委員(日本): 災害対策本部の情報はむずかしい行政用語があるので、前もってやさ
しい日本語で情報を作成しておけば、スムーズに翻訳作業に入ることができるのだと
思う。

○委員(日本): センターの基本方針としてやさしい日本語を使うなど、図の中に書いた
方がいいかもしれない。

○委員(ペルー): 今は会議だから問題ないが、実際に災害が起きたときにはやさしい日
本語が必要になるだろう。また、外国人でボランティアをやりたい人も難しい言葉で書
かれていると手伝えない。

○委員(日本): 仙台市災害多言語支援センターの電話番号は、国際交流協会の通訳
窓口の電話番号だったのか。(同じ電話番号だったことを後日確認)

○大和市: 京都の訓練では、班の仕分けに入る前にコーディネートする人がいて、ボラン
ティアスタッフに役割を割り振りする時間を設けていた。

(資料3について)

○委員(ペルー): FM やまと(日曜夜の番組インターナショナルクラブ)では、あらかじめ
多言語で地震の注意事項が流せるように、原稿が用意されている。

○委員(ペルー): しかし、FM やまとのことを知らない外国人が多い。

○ファシリ: FM やまとで災害時の対応がどのようになっているか、可能ならフィールドワー
クを行って確認してもよいのではないか。

○委員(日本): 仙台で多言語ラジオ放送ができたのは、事前のシミュレーションがあっ
たのだろう。

○委員(フィリピン): 電気がすぐに復旧しないときは、アナログ(紙)での情報提供か。

○委員(ペルー): 大きな紙に書いて掲示するのだと思う。

○大和市: 避難所運営には市職員があたったそうだが、心労が激しくて運営から外れる
職員が多かったようだ。

3 防災訓練(災害多言語支援センターの設置・運営訓練)について

事務局から資料に基づいて、説明を行った。その後出た意見は以下の通り。

- 委員(日本): 訓練の場所は機材が常備してあるところがよい。また、センターの設置場所は事前に決めておいた方がよいのではないかな。
- 委員(日本): やさしい日本語での翻訳版は事前に少し用意できるのでは。翻訳のパターンを決めてフォーマットを作っておけばよい。
- 委員(日本): ボランティアの中には日常会話はできても読み書きができない人、またはその反対のケースがある。外国語の会話ができるのか、読み書きができるのか、登録する際に確認して事前にわかっていた方がいい。今までの経験から想定できることはあるので、今から準備できるものはしておく。

今後の訓練について

- ファシリ: 3つの訓練を考えている。訓練①(災害多言語支援センター設置・運営訓練)は単独でやる。そのあと、訓練②(地域防災訓練)は、8月9日-10日の四自治会の防災訓練に参加して、避難所体験を中心にやる。また、訓練③(大和市総合防災訓練)として、8月23日の総合防災訓練では小学校グラウンドにテントを出して、実際の多言語支援の説明をするような訓練を実施する。
- ファシリ: ネットワークをつくりたい団体と一緒に訓練ができれば、ネットワークづくりにもつながっていくのではないかな。7月に訓練①を実施し、その前の6月にこの会議の委員と協力団体との合同で訓練①の説明会を実施するのはどうか。
- 大和市: 提案だが、訓練の楽しみのひとつとして、炊き出しでエスニック料理を出してみてもいいかもしれない。
- 委員(日本): 訓練への参加呼びかけは自治会に入っている人に限られてしまう。
- 委員(ペルー): 自治会に入っていない外国人は多い。日本以外の国では自治会という仕組みがない。
- 委員(韓国): もちろん、日本人でも自治会に入っていない人は多いわけだが。
- 委員(フィリピン): 訓練なので、自治会の人だけでなく、ほかの地区に住んでいる人も参加していいのではないかな。
- 委員(ペルー): これまで宿泊の防災訓練はあまり聞いたことがない。
- ファシリ: 四自治会の訓練に参加させてもらうのだとしたら、その話し合いに国際化協会も出て、自治会以外の方の参加を含めて依頼する必要があるのではないかな。
- 大和市: 横須賀で行われている宿泊の防災訓練では、ボランティアセンターが社会福祉協議会や米軍などと協力して実施している。
- 事務局: 食事にしても炊き出し訓練として、訓練の一つに挙げられているようだ。

- 委員(ペルー): 本^{ほん}当^{とう}に自^じ治^ち会^{かい}の訓^{くん}練^{れん}に参^{さん}加^かしてもし^しい^いの^のだ^だろ^ろう^うか。自^じ分^{ぶん}の自^じ治^ち会^{かい}で
は、あ^あま^まり^り参^{さん}加^か者^{しゃ}が^が多^{おほ}く^くな^なつ^つて^ても^も困^{こま}る^るこ^こと^とが^があ^ある^るよ^よう^うだ。も^もち^ちろ^ろん、少^{すく}な^なず^ずぎ^ぎて^ても^も困^{こま}る^る。
- 委員(日本): 自^じ治^ち会^{かい}の了^{りょう}承^{しょう}を^を得^える^る必^{ひつ}要^{よう}が^があ^ある^る。
- 委員(日本): 各^い自^{いん}が^にど^{ほん}う^{かく}い^じう^{かく}役^{やく}割^{わり}を^をす^する^るの^のか、ま^くだ^ん訓^{くん}練^{れん}の^のこ^こと^とが^がイ^いメ^めー^えジ^じで^でき^きな^ない^い。
- 事^じ務^む局^{きょく}: ま^まだ^だ決^きま^まつ^つて^てい^いな^ない^いこ^こと^とが^が多^{おほ}い^いの^ので、こ^これ^れか^から^ら決^きめ^めて^てい^いく^く。
- 委員(日本): 地^ち域^{いき}の外^{がい}国^{こく}人^{じん}が^が訓^{くん}練^{れん}に参^{さん}加^かす^すと自^じ治^ち会^{かい}の活^{かつ}動^{どう}も^もわ^わか^かる^るし、自^じ治^ち会^{かい}に
入^{はい}っ^って^てい^いな^ない^い人^{ひと}も^も参^{さん}加^かで^でき^きる^ると^とい^いい^い。自^じ治^ち会^{かい}に理^り解^{かい}し^して^ても^もら^らえ^える^るよ^よう^うア^あピ^ぴー^えル^るし^して^てほ^ほし^し
い^い。
- ファシリ: 地^ち域^{いき}防^{ぼう}災^{さい}訓^{くん}練^{れん}は、多^た文^{ぶん}化^か共^き生^{せい}会^{かい}議^ぎ委^い員^{いん}と国^{こく}際^{さい}化^か協^き会^{かい}と^とが^が主^{おも}に^に参^{さん}加^かす^す
形^{かたち}を^を考^{かんが}え^えて^てい^いる^る。外^{がい}国^{こく}人^{じん}団^{だん}体^{たい}に^につ^つい^いて^ては^はま^まだ^だわ^わか^から^らな^ない^い。
- 委員(フィリピン): 実^じ際^{さい}の災^{さい}害^{がい}に^にお^おい^いて、協^き力^{りき}者^{しゃ}の呼^よび^びか^かけ^けは^は誰^{だれ}が^が行^{おこな}う^うの^のか。
- 委員(ペルー): 自^じ分^{ぶん}が^が呼^よび^びか^かけ^ける^るし^しか^かな^ない^いの^ので^では^は。
- ファシリ: 協^き力^{りき}者^{しゃ}を^をど^どの^のよ^よう^うに^に集^{あつ}め^める^るの^のか、ま^まだ^だ具^ぐ体^{たい}的^{てき}に^には^はな^なつ^つて^てい^いな^ない^い。協^き力^{りき}す^する^るか
ど^どう^うか^かは^は個^こ人^{じん}の^の問^{もん}題^{だい}に^にな^なつ^つて^てく^くる^る。
- 大^や和^{まし}市^し: そ^その^の登^{とう}録^{ろく}制^{せい}度^どを^を整^{せい}備^びし^して^てい^いく^くこ^こと^とも^も課^か題^{だい}。
- ファシリ: 運^{うん}営^{えい}ス^すタ^たフ^ふに^にど^どう^うい^いう^う役^{やく}割^{わり}を^を与^{あた}え^える^るの^のか、整^{せい}理^りし^して^てお^おく^く必^{ひつ}要^{よう}が^があ^ある^る。加^くえ^えて、
普^ふ段^{だん}関^{かん}わ^わり^りが^が少^{すく}な^ない^い人^{ひと}を^を発^はっ^つく^くし^して^てお^おく^くこ^こと^とが^が必^{ひつ}要^{よう}。関^{かん}わ^わり^りが^があ^ある^る人^{ひと}は^は余^よ裕^{ゆう}が^があ^あれ^れば、
必^{かな}ず^ずか^かけ^けつ^つけ^ける^るは^はず。今^{いま}ま^まで^であ^ある^るネ^ねッ^っト^とワ^わー^えク^くの^の団^{だん}体^{たい}以^い外^{がい}の^の個^こ人^{じん}に^に協^き力^{りき}し^して^ても^もら^らえ^えれ^れ
ば、実^じ際^{さい}の^の災^{さい}害^{がい}の^の時^{とき}に^に生^いき^きて^てく^くる^るし、意^い味^みの^のあ^ある^る訓^{くん}練^{れん}に^にも^もな^なる^る。
- 大^や和^{まし}市^し: 現^{げん}地^ちに^に行^いく^くこ^こと^とが^が無^む理^りで^でも、メ^めー^えル^るな^など^どで^で協^き力^{りき}で^でき^きる^る人^{ひと}の^の確^{かく}保^ほも^も必^{ひつ}要^{よう}に^にな^なる^る。
ボ^ぼラ^らン^んチ^ちア^あ個^こ人^{じん}が^が何^{なに}を^をで^でき^きる^るか^かを^を把^は握^{あく}し^して^てお^おく^くと^とい^いい^い。
- 委員(日本): 留^{りゅう}学^{がく}生^{せい}は^は翻^{ほん}訳^{やく}に^に力^{ちから}を^を発^はっ^つき^きす^する^るだ^だろ^ろう^う。
- 委員(フィリピン): 事^じ務^む局^{きょく}に^に任^にせ^せる^るだ^だけ^けで^でな^なく、自^じ分^{ぶん}た^たち^ちで^でも^も声^{こえ}を^をか^かけ^けて^てい^いき^きたい^い。
- ファシリ: 大^や和^{まし}市^しに^に住^すん^んで^でい^いる^る人^{ひと}だ^だけ^けで^でな^なく、メ^めー^えル^るな^など^どを^をつ^つか^かつ^つて^て協^き力^{りき}で^でき^きる^る人^{ひと}や^や直^{ちよく}接^{せつ}多^た言^{げん}語^ご支^し援^{えん}セ^せン^んター^たー^たに^に協^き力^{りき}で^でき^きる^る人^{ひと}は^はそ^それ^れぞ^ぞれ^れ必^{ひつ}要^{よう}に^にな^なる^る。
- 委員(日本): ど^どの^の外^{がい}国^{こく}人^{じん}団^{だん}体^{たい}に^にと^とつ^つて^ても、実^じ際^{さい}に^に動^{うご}く^くこ^こと^とが^がで^でき^きる^るメン^{めい}バ^{ぜん}ー^あは^は 10名^{じゅう}前^{ぜん}
後^ごと^と限^{かぎ}ら^られ^れて^てい^いる^る。た^ただ^だし、限^{げん}定^{てい}し^した^た役^{やく}割^{わり}で^であ^あれ^れば、そ^その^の他^{ほか}の^のメン^{めい}バ^{ぜん}ー^あの^の中^{なか}に^にも^も協^き力^{りき}し^し
て^てく^くれ^れる^る人^{ひと}は^はい^いる^るは^はず^ず。
- ファシリ: ま^また、国^{こく}際^{さい}化^か協^き会^{かい}のボ^ぼラ^らン^んチ^ちア^あと災^{さい}害^{がい}ボ^ぼラ^らン^んチ^ちア^あで^では^は活^{かつ}動^{どう}の^のイ^いメ^めー^えジ^じが^が違^{ちが}
う^うの^ので、改^{あらた}め^めて^て登^{とう}録^{ろく}者^{しゃ}へ^へ確^{かく}認^{にん}す^する^る必^{ひつ}要^{よう}が^があ^ある^るの^ので^でな^ない^いか^か。

こんご よてい
今後の予定

にちじ 日時	ないよう 内容
がつ にち ど 5月31日(土)	じ ぜん う あ かい ぎ 事前の打ち合わせ会議
がつ にち ど 6月21日(土)	じ ぜん う あ かい ぎ 事前の打ち合わせ会議
がつ にち ど 7月26日(土)	くんれん さいがいた げんご し えん せつ ち うんえいくんれん 訓練①(災害多言語支援センター設置・運営訓練)
がつ にち ど にち にち 8月9日(土)～10日(日)	くんれん ち いきぼうさいくんれん やま と しょうがっこう 訓練②(地域防災訓練@大和小学校)
がつ にち ど 8月23日(土)	くんれん やま と し そうごうぼうさいくんれん ふか み しょうがっこう 訓練③(大和市総合防災訓練@深見小学校)
がつ にち ど 10月18日(土)	かい ぎ 会議
がつ にち ど 11月15日(土)	かい ぎ 会議
がつ にち ど 12月20日(土)	かい ぎ 会議